

令和 8 年度 社会福祉法人光寿福社会 事業計画

法人理念

私たちは『忘己利他』の精神で「おもてなし」の気持ちを大切にし

入居者様、ご家族様を支援します。

— 令和 8 年度スローガン —

『自分事として捉える ～他人事マインドの脱却～』

『続・整理整頓』

経営方針

① 健全で堅実な経営

事業活動の継続的な点検、改善に取り組むことで施設経営の安定化を図ります。

② 良質なケアの提供

利用者、入居者の暮らしの継続を意識し、いつまでもその人らしい生活が送れるよう支援します。

③ 人財の育成・開発

「おもてなしの気持ち」を大切にできる高い倫理性を備えた職員の育成と計画的、体系的な研修により福祉領域の専門性を有する人材の開発に努めます。

④ 働きやすい職場環境

福利厚生の実施を図り、職員のワークライフバランスの満足度、職員の定着率の向上に取り組めます。

⑤ 地域貢献

地域共生社会の実現に向け開かれた施設、法人を目指します。

令和 8 年度重点目標

① 健全で堅実な経営

- 1) 特養 稼働率 95%以上
- 2) ショートステイ 稼働率 85%以上
- 3) デイサービス 稼働率 80%以上
- 4) 居宅介護支援事業所 受持ち件数 45 件以上
- 5) グループホーム 稼働率 95%以上
- 6) 計画通りの予算の執行と管理
食材費（管理費含む）の徹底した前年度比較
- 7) 加算の取得（科学的介護推進体制加算等、精神科医療養指導加算、グループホームで算定可能な加算の検討、算定）
- 8) 定期的な要介護度の見直し
- 9) 助成金、補助金の活用

② 良質なケアの提供

- 1) 新しい食事提供方法の確立と食べる楽しみへの意識転換
- 2) 記録の標準化
- 3) 生活に即した実用性のあるケアプランの立案
- 4) きめ細かいケアの実践（看取りケアのレベル向上、スキンケアの推進、接遇の向上
緊急時対応の習得、感染発生時の対応の習得）
- 5) 多職種協働（LIFE の適切な運用と実践）
- 6) ご家族を交えた行事の実施、レクリエーション活動の充実

③ 人財の育成・開発

- 1) 新規技能実習生の育成
- 2) 人事考課制度のさらなる活用
- 3) 介護職ラダーの確立
- 4) ラダーや経験年数に応じた研修の実施

④ 働きやすい職場環境

- 1) 資格取得のサポート
（喀痰吸引研修（2 号）、初任者研修、実務者研修、介護福祉士国家試験対策、介護支援専門員資格取得、その他福祉関連資格等）
- 2) 業務の効率化を考えた職場環境整備と書類の管理
- 3) スポットワークの検討、一部導入

⑤ 地域貢献

- 1) ボランティアの受け入れと地域行事への参加（近隣の学校等）
- 2) 夢前地域住民向けの防災ワークショップの開催（最終年）
- 3) NPO 法人夢ノ森伴走者「CUE」との連携（地域住民のニーズ発掘と把握）

特別養護老人ホーム光寿園

【目標と達成への取組み】

・健全で堅実な経営

- 1) 年間平均稼働率 95%以上
 - 他事業所との連携、情報共有
 - 空きベッドの有効活用（速やかなショートステイの受け入れ）
 - 入院者の退院見込み等、適切なベッドコントロール
 - 外部への発信、営業活動（令和8年度実績）
 - 多職種との連携で受入の間口を広げる。
 - 介護支援専門員による定期的な要介護度の見直し

2) 加算の取得

- 科学的介護推進体制加算Ⅰ、精神科医療養指導加算（5/1～）

・良質なケアの提供

- 1) 新しい食事提供方法の確立と食べる楽しみへの意識転換
 - 各職種の役割を分担し、スムーズに食事を提供する。
 - 給食業者変更につき、入居者からの声をヒアリングし評価する。

2) 記録の標準化

- レポート類の書式の統一
- 介護ソフトへの理解を向上させる研修の実施

3) 生活に即した実用性のあるケアプランの立案

- ユニットの介護職員等との情報交換による生活面に即したケアプランの立案
- 担当者会議の実施

4) きめ細かいケアの実践

- 看取りレベルの向上（既存の気づきシートの積極的な活用、看取り前の説明から関わり看取りへの理解を深める、研修で課題や不安を報告し学びを共有する）
- スキンケアの推進（スキントラブルを起こしやすい入居者のリスト化、対象者にプロテインを導入し効果を測定する）
- 接遇の向上（接遇基礎研修の実施、ご家族とのつながりを意識したコミュニケーション研修の実施）
- 緊急時対応の習得（救急隊による訓練の実施、人形を使ったデモンストレーションの実施）
- 感染発生時の対応の習得（感染を想定した外回り担当者の調理を含めた訓練の実施）

5) 多職種協働

○加算取得に向けた LIFE の適切な運用と実践（データ提出からフィードバックまでの活用）

・人材の育成・開発

1) 技能実習生 2 名の育成

○技能実習生が安心して実習に臨める職場環境の整備

○技術指導員と生活指導員の役割の明確化

2) 人事考課のさらなる活用

○ユニットリーダーを対象とした評価者研修の実施

3) 介護職ラダーの確立

○介護職ラダー一覧表の作成（全事業所共通）

4) ラダーや経験年数に応じた研修の実施

○ラダーや経験年数に応じた研修教育計画の作成

・働きやすい職場環境

1) 資格取得のサポート

○喀痰吸引研修 2 号（6 名）、初任者研修対象者の受講サポート（1 名）、実務者研修対象者の受講サポート（1 名）、リスクマネジャー認定資格（2 名）

2) 業務の効率化を考えた職場環境整備と書類の管理

○各倉庫の管理、談話スペースの検討、記録物の廃棄

・地域貢献

1) ボランティアの受け入れと地域行事への参加（近隣の学校等）

○施設行事への受け入れと体育祭や文化祭といった各行事への参加

2) 夢前地域住民向けの防災ワークショップの開催（最終年）

○防災ワークショップの 4 回／年の開催と評価

3) NPO 法人夢ノ森伴走者「CUE」との連携（地域住民のニーズ発掘と把握）

○連携以後の評価と今後の展望を共有するミーティングを開催

【施設長 津田 剛】

ショートステイ光寿園

【目標と達成への取り組み】

- ・健全で堅実な経営
 - 1) 年間平均稼働率 85%以上
 - 利用したいという利用者、家族のニーズにいち早く応え、地域に選ばれるサービスを目指す。(緊急の受け入れにも対応)
 - 職員間、担当ケアマネジャーとも情報共有し、些細な事柄でも問題意識をもち解決を図る。
- ・良質なケアの提供
 - 1) 「おもてなし」の気持ちで接遇を実践する。
 - 役割を分担し、食事環境も考慮しながら、スムーズに食事を提供する。
 - 自宅での暮らしの継続ができるよう家族、担当ケアマネジャーと良好な関係を築く。
 - 介護ソフトへの理解を向上させる研修の実施
- 2) きめ細かいケアの実践
 - 接遇の向上(接遇基礎研修の実施、ご家族とのつながりを意識したコミュニケーション研修の実施)
 - 緊急時対応の習得(救急隊による訓練の実施、人形を使ったデモンストレーションの実施)
 - 感染発生時の対応の習得(感染を想定した外回り担当者の調理を含めた訓練の実施)
- ・人材の育成・開発
 - 1) 技能実習生2名の育成
 - 技能実習生が安心して実習に臨める職場環境の整備
 - 技術指導員と生活指導員の役割の明確化
- ・働きやすい職場環境
 - 1) 資格取得のサポート
(初任者研修1名)
- 2) 業務の効率化を考えた職場環境整備と書類の管理
 - 各倉庫の管理、談話スペースの検討、記録物の廃棄
- ・地域貢献
 - 1) 夢前地域住民向けの防災ワークショップの開催(最終年)
 - 防災ワークショップの4回/年の開催と評価
- 2) NPO 法人夢ノ森伴走者「CUE」との連携(地域住民のニーズ発掘と把握)
 - 連携以後の評価と今後の展望を共有するミーティングを開催

【管理者 藤原 咲】

デイサービスセンター光寿園

【目標と達成への取組み】

- ・健全で堅実な経営
 - 1) 年間平均稼働率 80%以上
 - 「おもてなし」の気持ちで接し、利用者一人一人が安心して楽しく過ごせるよう支援し、利用の継続・利用回数の増加を図る。
 - キャンセル時の振替利用の提案
 - 居宅介護支援事業所への PR や担当利用者の情報を共有することで信頼関係を築き、新規利用者の獲得に繋げる。
 - 安定した良質なケアを提供するための適正な人員を確保する。
- ・良質なケアの提供
 - 1) きめ細かいケアの実践
 - アセスメントを行い、ケアプランに沿った通所介護計画書を作成。職員間で共有し、全職員が統一した適切なケアを提供する。
 - 法人、事業所、外部研修に参加し、職員のスキルや知識を向上させ、良質なケアの提供に繋げる。
 - 2) 行事、レクリエーション活動の内容の充実
 - 月1回、スタッフ会議で行事・レクリエーション内容の評価を行い、楽しみながら身体機能や脳機能の維持・活性化を図れるレクリエーションを提供する。
 - ドライブ、買い物、外食等の外出行事を検討し、開催する。
- ・働きやすい職場環境
 - 1) 資格取得のサポート
 - 初任者研修・実務者研修・介護福祉士国家試験対象者の受講サポート

【管理者 小林 知子】

居宅介護支援事業

社会福祉法人光寿福祉会居宅介護支援事業所

【目標と達成への取組み】

- ・健全で堅実な経営
- 1) 担当件数の維持
- 在宅看取りなど、緊急性の高いケースにも迅速で濃密な対応ができる範囲で利用者数を維持していく。
- ・良質なケアの提供
- 1) 自己研鑽のための研修参加
- 役割を実践するために必要な倫理・知識・技術の習得に努める。
- 2) 多機関・多職種との連携・協働
- 医療職をはじめとした多職種との連携・協働を進め、支援チームの一員となって活動する。

【管理者 志田 聖子】

地域密着型サービス事業

グループホーム（千手荘 I・II 共通）

【目標と達成への取組み】

- ・健全で堅実な経営
- 1) 年間平均稼働率 95%以上
- 退所があった際の速やかな入所への対応（4 週間以内でベッドを稼働させる）
- 入居者個々の健康管理、ADL の低下防止、ストレスの緩和に努め、平均入居期間 4 年以上を目指す。
- ADL の変動の際、速やかに区分変更を行い正しい介護度に合わせたサービスを提供する。
- 感染拡大防止体制の確立と災害対策の強化（BCP 委員会への参加、災害避難訓練の実施）
- 待機者 30 名以上の確保
- ・良質なケアの提供
- 1) 認知症の方への理解、支援方法、入居者の思い、意向に沿ったケアを職員全体で共有し実践することで入居者本位のケアを目指す。
- 月 2 回のスタッフ会議の開催
- ヒヤリハットの記入（一人月 1 枚以上）とリスクマネジメント委員会にて事故防止に努める。事故件数年間 10 件以内を目指す。
- ユニット 1 と 2 間の報連相の徹底する。家族との交流や報連相を徹底し、家族や入居者から信頼されるケアを確立させる。

・人財の育成・開発

1) 福祉領域の専門性を有する人材の開発

○認知症実践者研修、1名を目指す。

○介護支援専門員資格取得に向けて学習会実施。（年6～8回）

・地域貢献

1) 地域に密着した取組みの推進

○地域のふれあい喫茶への参加

○地域の小学校との交流会の開催

○地域の草刈りへの参加

○年6回の運営推進会議の開催

○年2回家族会の開催

○祭りなど地域のイベントへの積極的な参加

【管理者 西口 拓哉】

清水谷住宅LSA（生活援助員）事業

【目標と達成への取組み】

○訪問時、気さくに声をかけることで、相談しやすい雰囲気作りを心がけ、安心して暮らしていただけるよう配慮していきます。

○安否確認訪問、夜間緊急時の対応をきめ細やかに行います。

○職員研修や業務連絡会を通じ、法人担当者ともまめな情報共有に努めます。

○「気軽に楽しく集える」をスローガンに月1～2回程度の交流会を開催します。

【LSA 振角 美枝子】

役員会

- ① 2026年5月上旬、5月中旬内部監査（法人監査）
- ② 2026年5月30日午後・理事会
令和7年度 事業報告・決算報告
- ③ 2026年6月14日午後・定時評議員会
令和7年度 事業報告・決算報告
- ④ 2027年3月20日午後・理事会
令和9年度 事業計画・予算
- ⑤ 2027年3月28日午後・臨時評議員会
令和9年度 事業計画・予算

避難訓練

- （日中想定） 5月 実施予定（消火器訓練）
（夜間想定） 11月 実施予定（自動火災報知設備等の操作確認）

地域密着型サービス 運営推進会議（2ヶ月に一度の予定）

2026年	5月（第1回）	5月23日
	7月（第2回）	7月25日
	9月（第3回）	9月26日
	11月（第4回）	11月28日
2027年	1月（第5回）	1月23日
	3月（第6回）	3月27日

主なイベント（予定）

- ① 2026年 8月23日 夏祭り
- ② 2026年 9月21日 敬老会
- ③ 2026年12月24日 クリスマス会
- ④ 2027年 1月 1日 新年会